

令和5年度保護者アンケートの結果

令和5年度保護者アンケートの概要

【目 的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和6年1月19日（金）から令和6年1月31日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

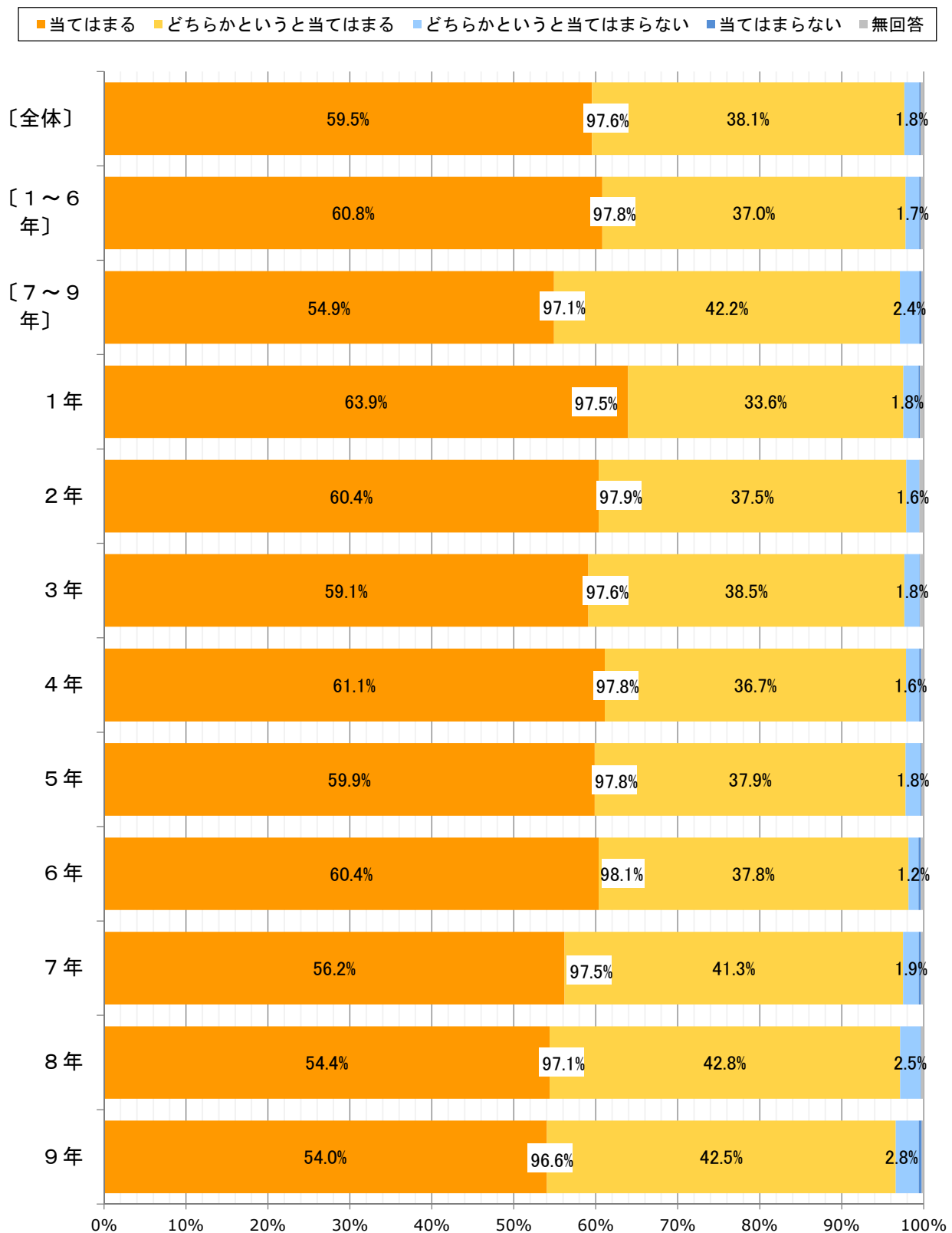
配布数 22,895 回答数 20,002（内、有効回答数 19,913 ） 回答率 87.0%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

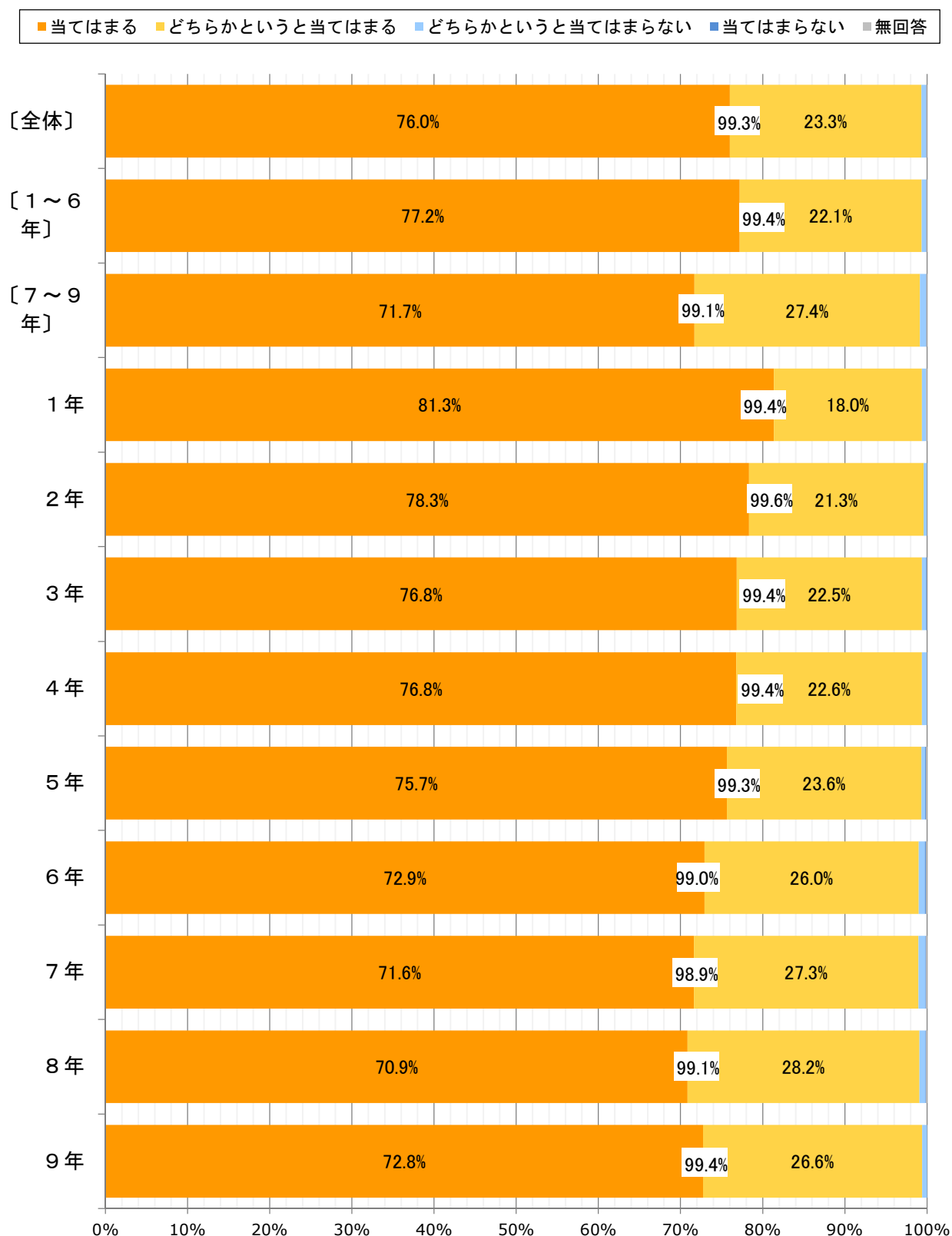
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 他者を尊重することの大切さを教えている。



「他者を尊重することの大切さを教えている」に『肯定的な回答』は、全体で約97.6%であり、1～6年では97.8%、7～9年では97.1%である。
「当てはまる」は全学年で50%～60%台の範囲となっている。1～6年は60.8%、7～9年は54.9%で約6ポイントの差である。

[2] 学校や公共のルール・マナーを守るようにしている。



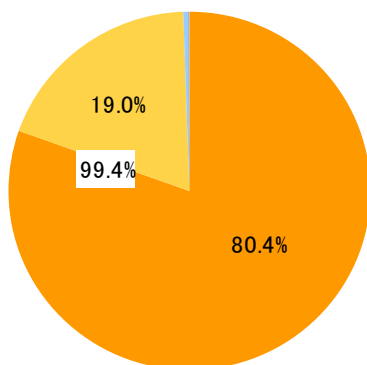
「学校や公共のルール・マナーを守るようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で99.3%となっている。1～6年は99.4%、7～9年は99.1%である。
 「当てはまる」の割合は全学年で70%を超えており、1年では81.3%と最も高い。

[2] 学校や公共のルール・マナーを守るようにしている。

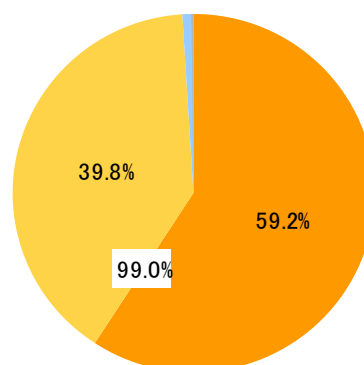
[9] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う とのクロス集計

■当てはまる ■どちらかという当てはまる ■どちらかという当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

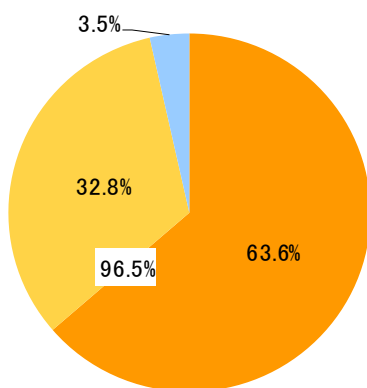
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)
当てはまる
n=15,688



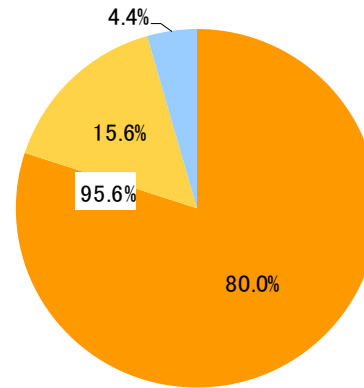
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)
どちらかという当てはまる
n=3,970



(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)
どちらかという当てはまらない
n=198



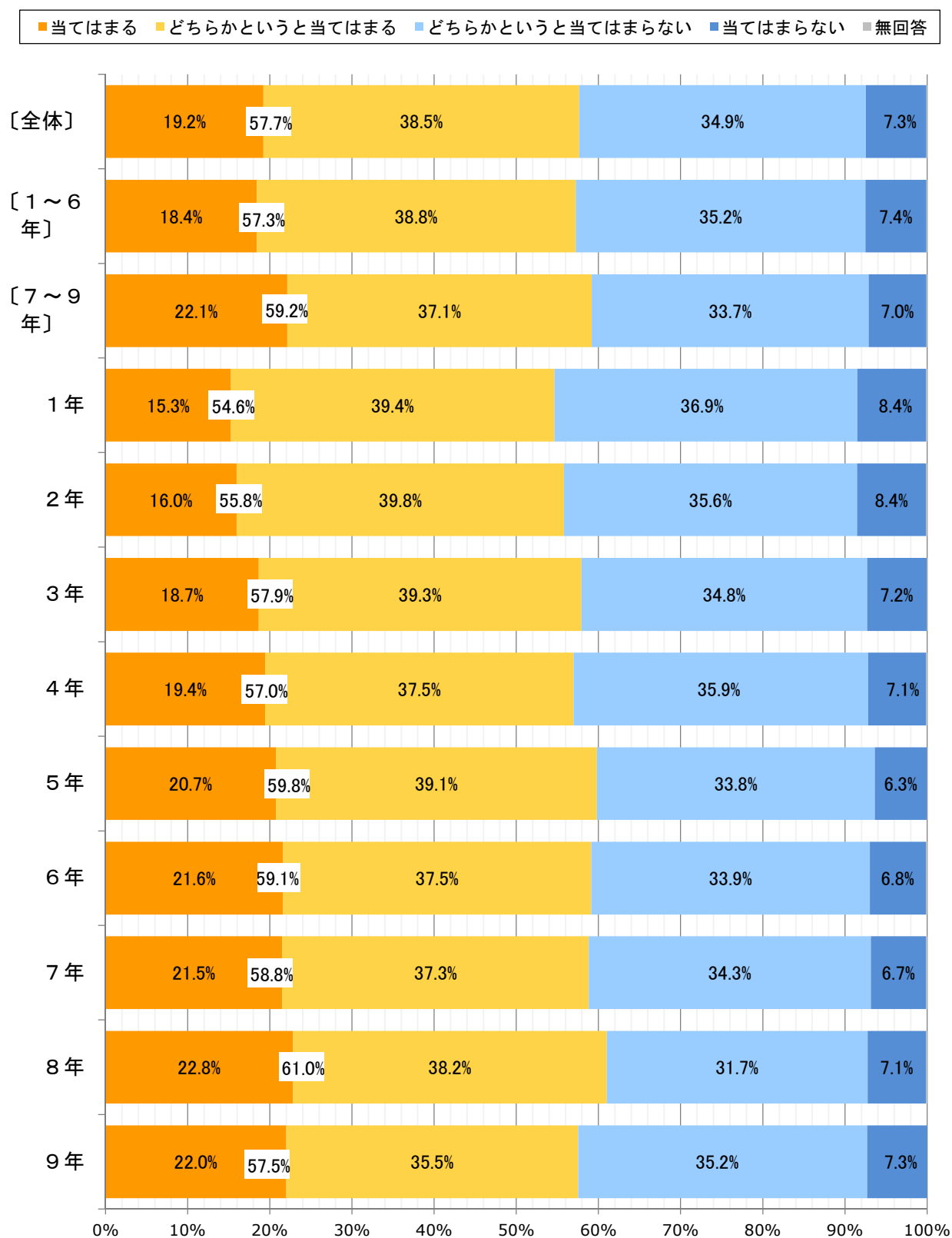
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)
当てはまらない
n=45



		設問 2											
		当てはまる		どちらかという 当てはまる		どちらかという 当てはまらない		当てはまらない		無回答		計	
設問 9	当てはまる	12,620	80.4%	2,981	19.0%	69	0.4%	9	0.1%	9	0.1%	15,688	100.0%
	どちらかという当てはまる	2,350	59.2%	1,580	39.8%	33	0.8%	2	0.1%	5	0.1%	3,970	100.0%
	どちらかという当てはまらない	126	63.6%	65	32.8%	7	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	198	100.0%
	当てはまらない	36	80.0%	7	15.6%	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	45	100.0%

設問[9]の「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」の回答別に見ると、「学校や公共のルール・マナーを守るようにしている」に『肯定的な回答』は、「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」に「当てはまる」で99.4%、「どちらかという当てはまる」で99.0%、「どちらかという当てはまらない」で96.5%、「当てはまらない」で95.6%と、お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う人ほど、学校や公共のルール・マナーを守るようにしている傾向が見られた。

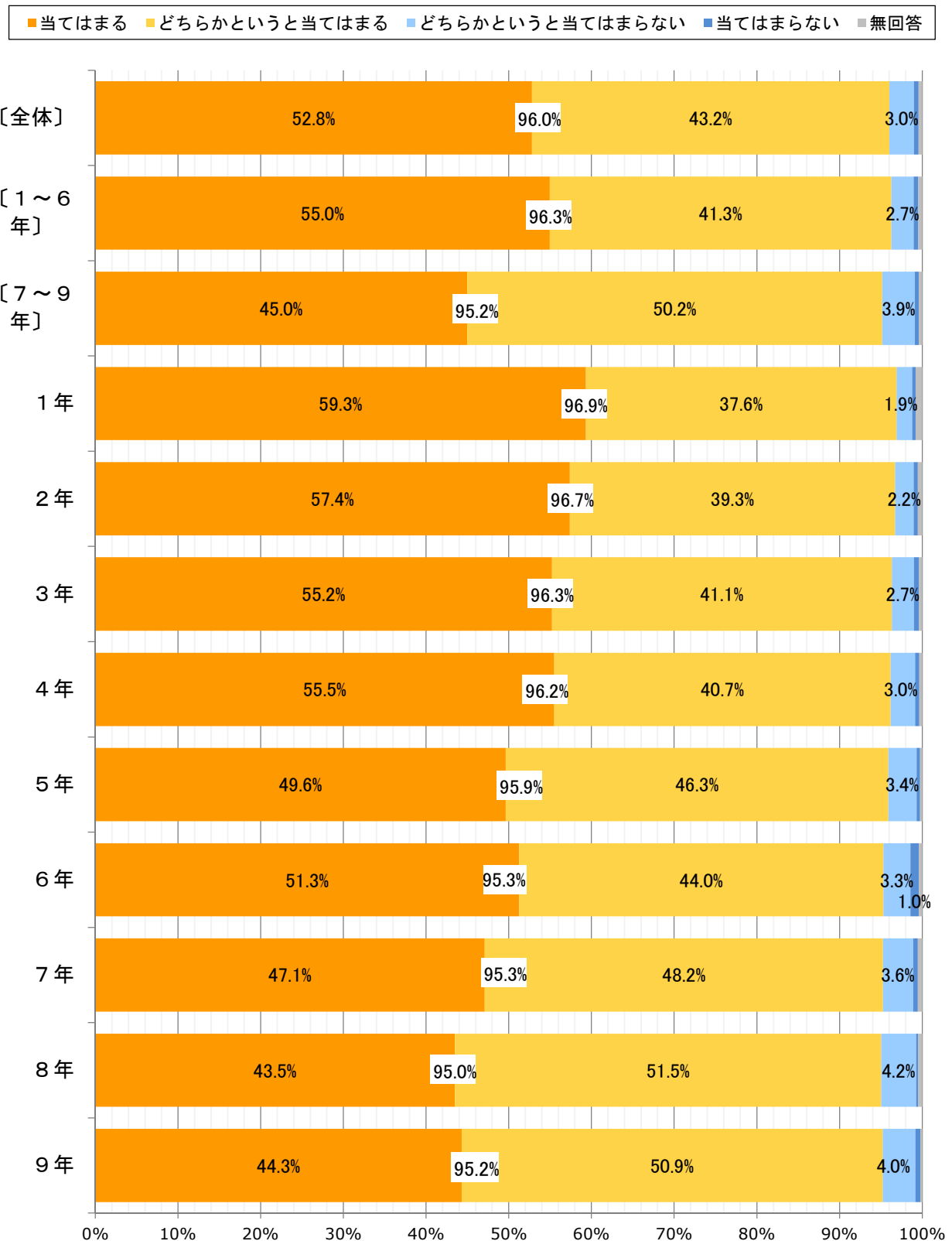
[3] 子どもに家事を分担している。



[子どもに家事を分担している]に『肯定的な回答』は、全体で約57.7%を占める。1～6年は57.3%、7～9年は59.2%である。
 「当てはまる」の割合は全学年とも10～20%台である。

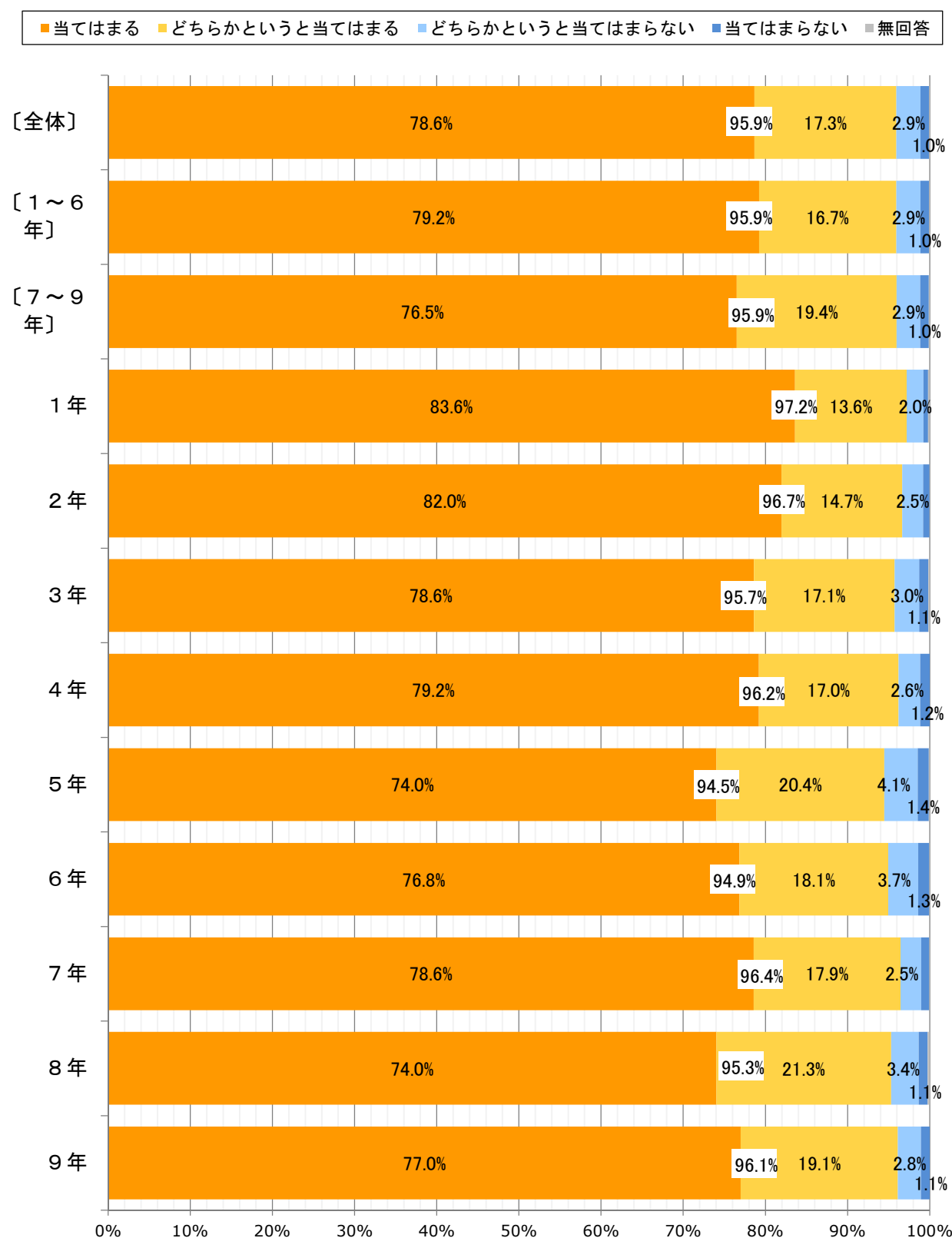
[B. 品川区の教育施策について]

[4] 市民科は、良い学習だと思う。



「市民科は、良い学習だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約96.0%である。『肯定的な回答』は1～6年では96.3%、7～9年では95.2%とほぼ同じ割合であるが、「当てはまる」は1～6年で55.0%、7～9年で45.0%と10ポイント差となっている。

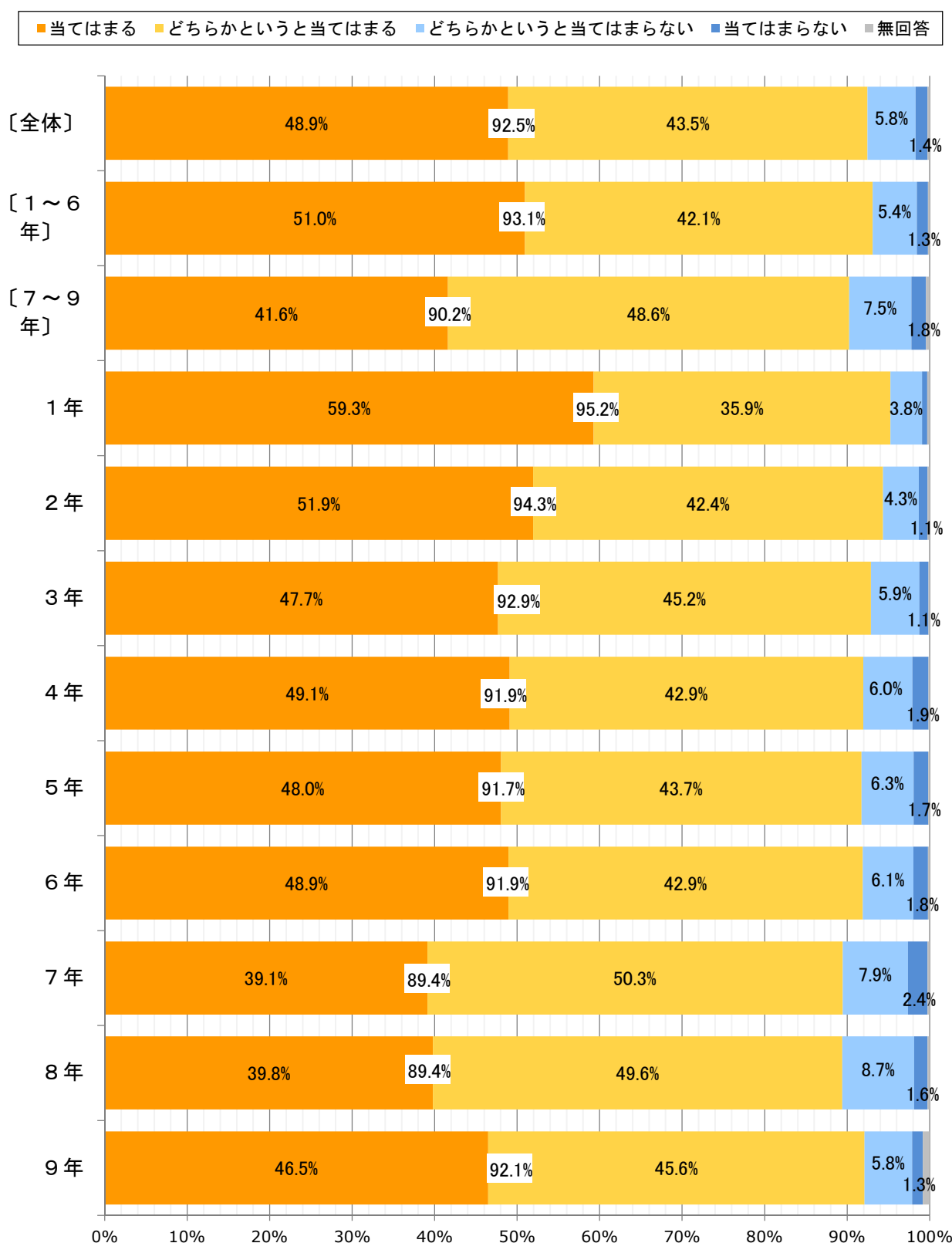
[5] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に『肯定的な回答』は、全体で95.9%で1～6年、7～9年も95.9%である。

「当てはまる」の割合は1～6年では79.2%、7～9年は76.5%で回答の割合がほぼ同じである。

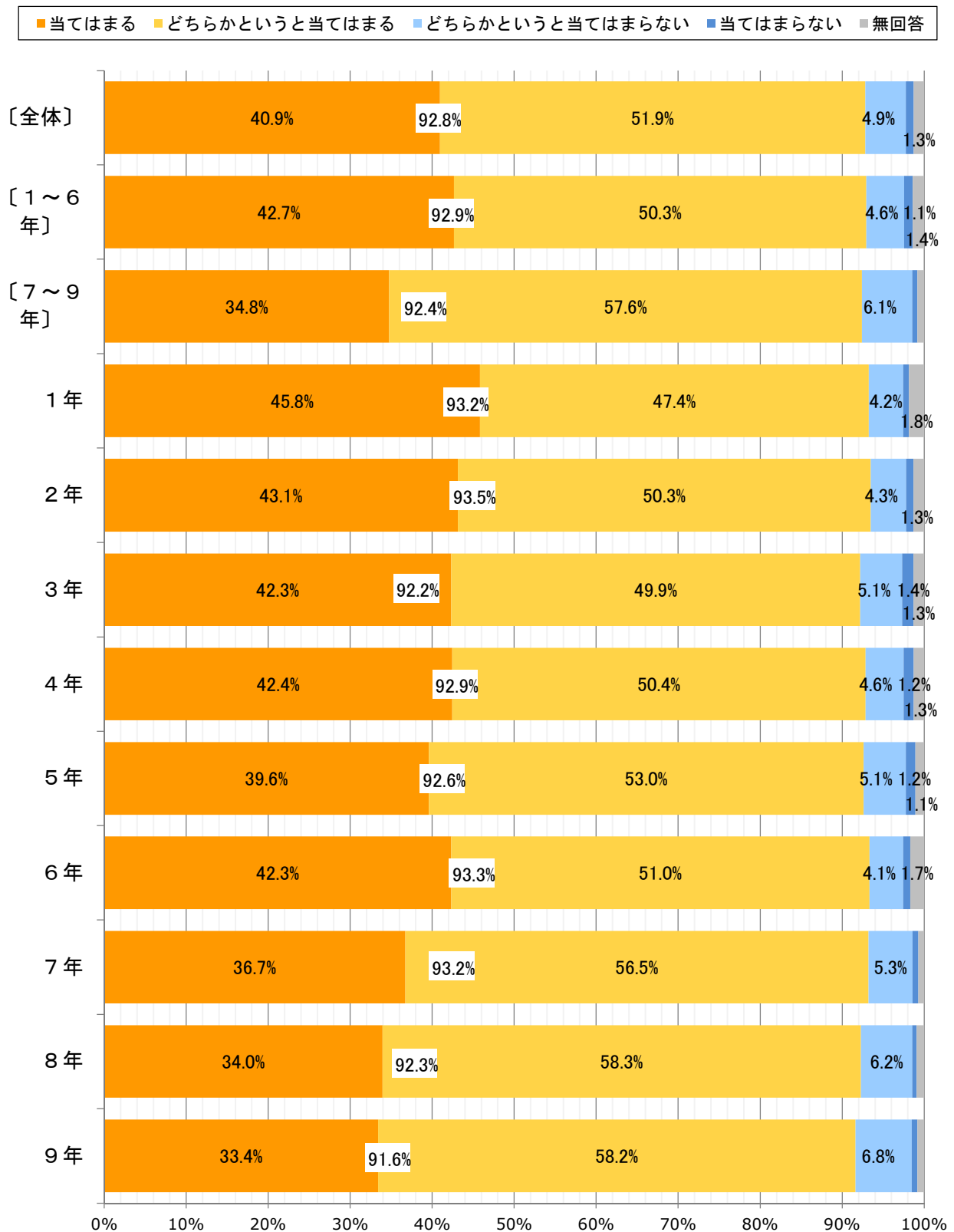
[6] 現在通っている学校に満足している。



〔現在通っている学校に満足している〕に『肯定的な回答』は、全体で92.5%となっている。1～6年は93.1%、7～9年は90.2%と、いずれも90%を超えている。
「当てはまる」の割合は1～6年の51.0%に比べ、7～9年は41.6%と低い。

[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

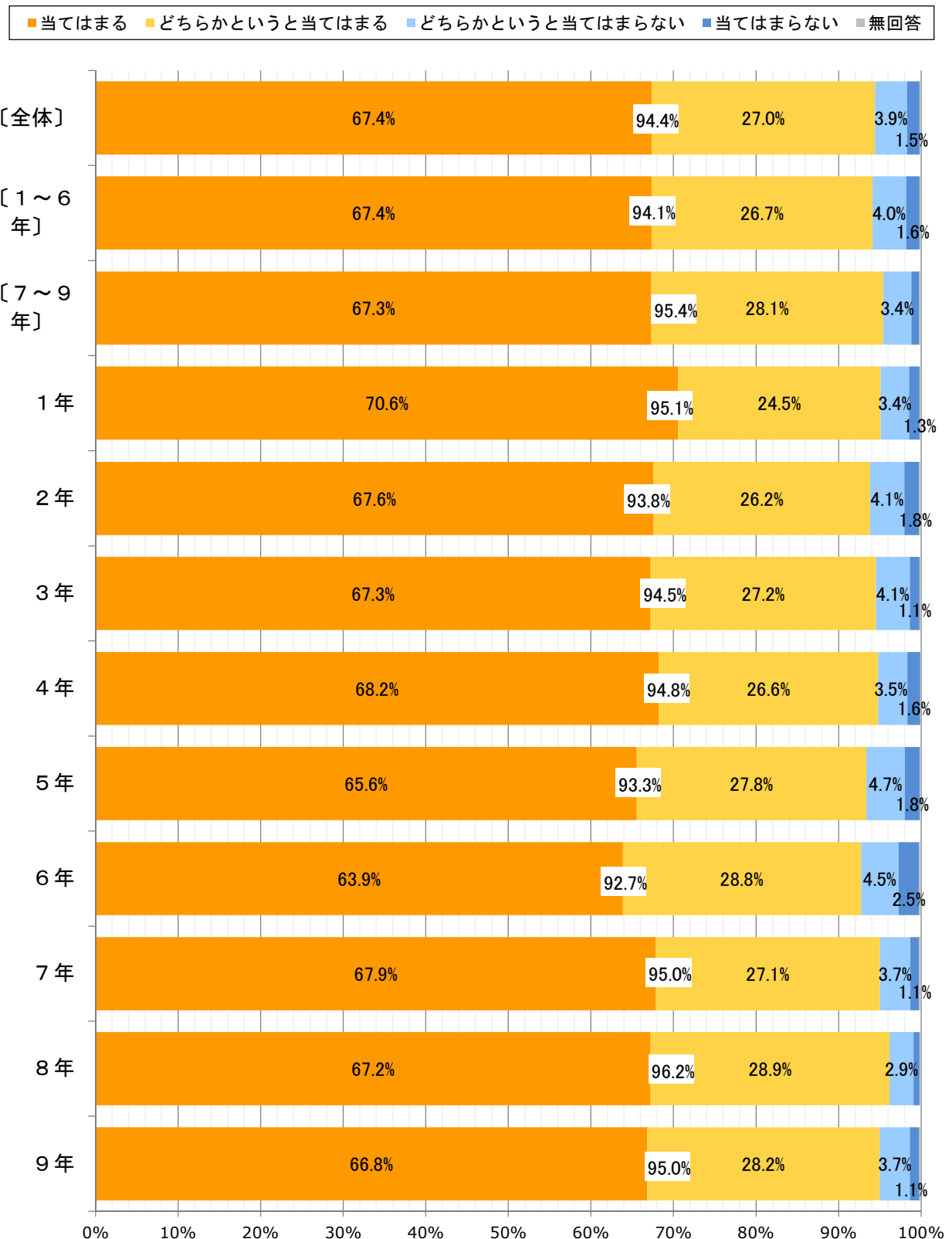
[7] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



[品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う]に『肯定的な回答』は、全体で92.8%である。
 『肯定的な回答』は1～6年は92.9%、7～9年は92.4%と0.5ポイント差であるが、「当てはまる」
 の割合は1～6年の42.7%に比べ、7～9年は34.8%と低い。

[D. ICT教育について]

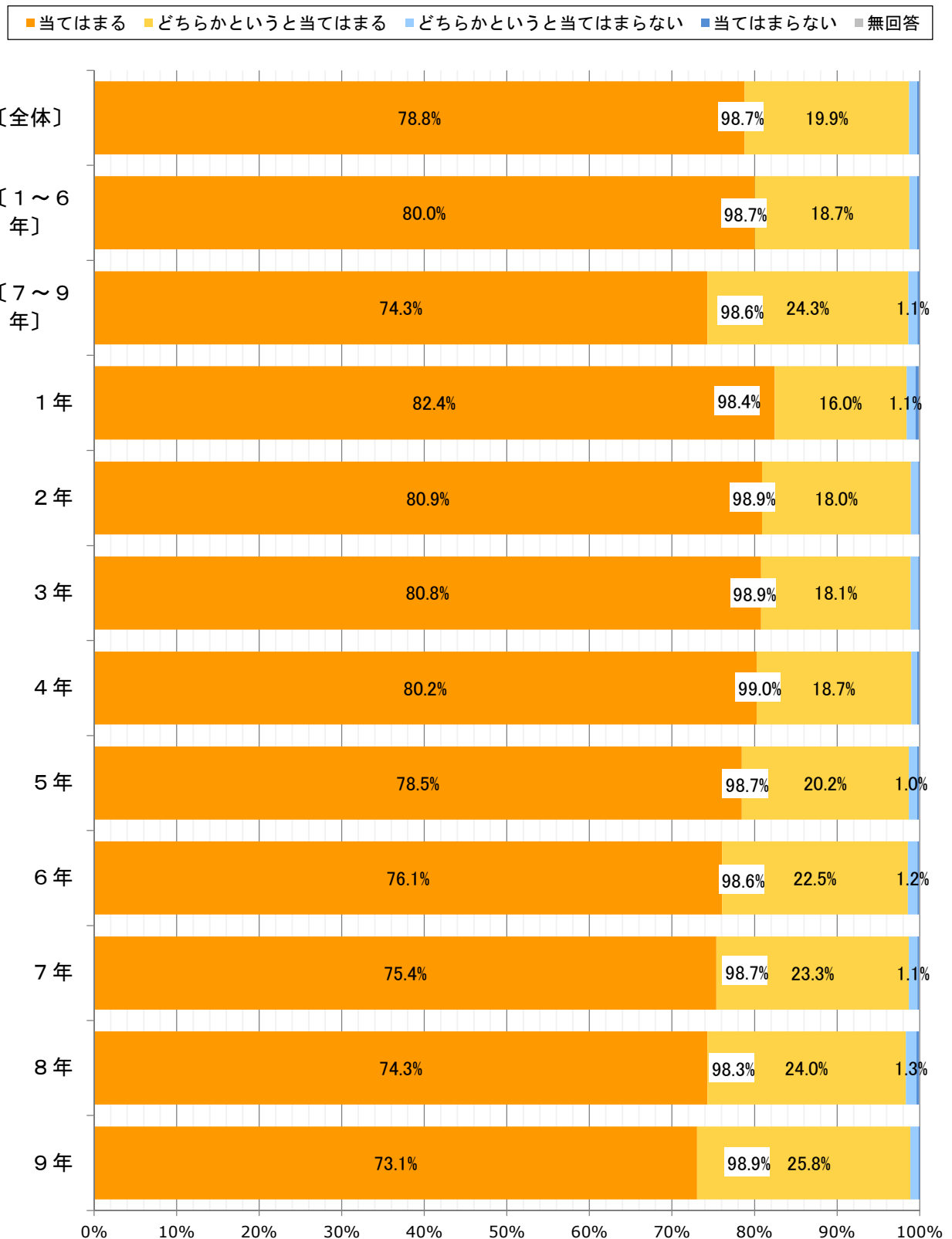
[8] お子さんがコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。



「お子さんがコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で94.4%、1～6年では94.1%、7～9年では95.4%であり、回答傾向に学年による大きな差はみられない。
「当てはまる」の割合は1～6年の67.4%、7～9年は67.3%となっている。

[E. 多様性・多文化理解について]

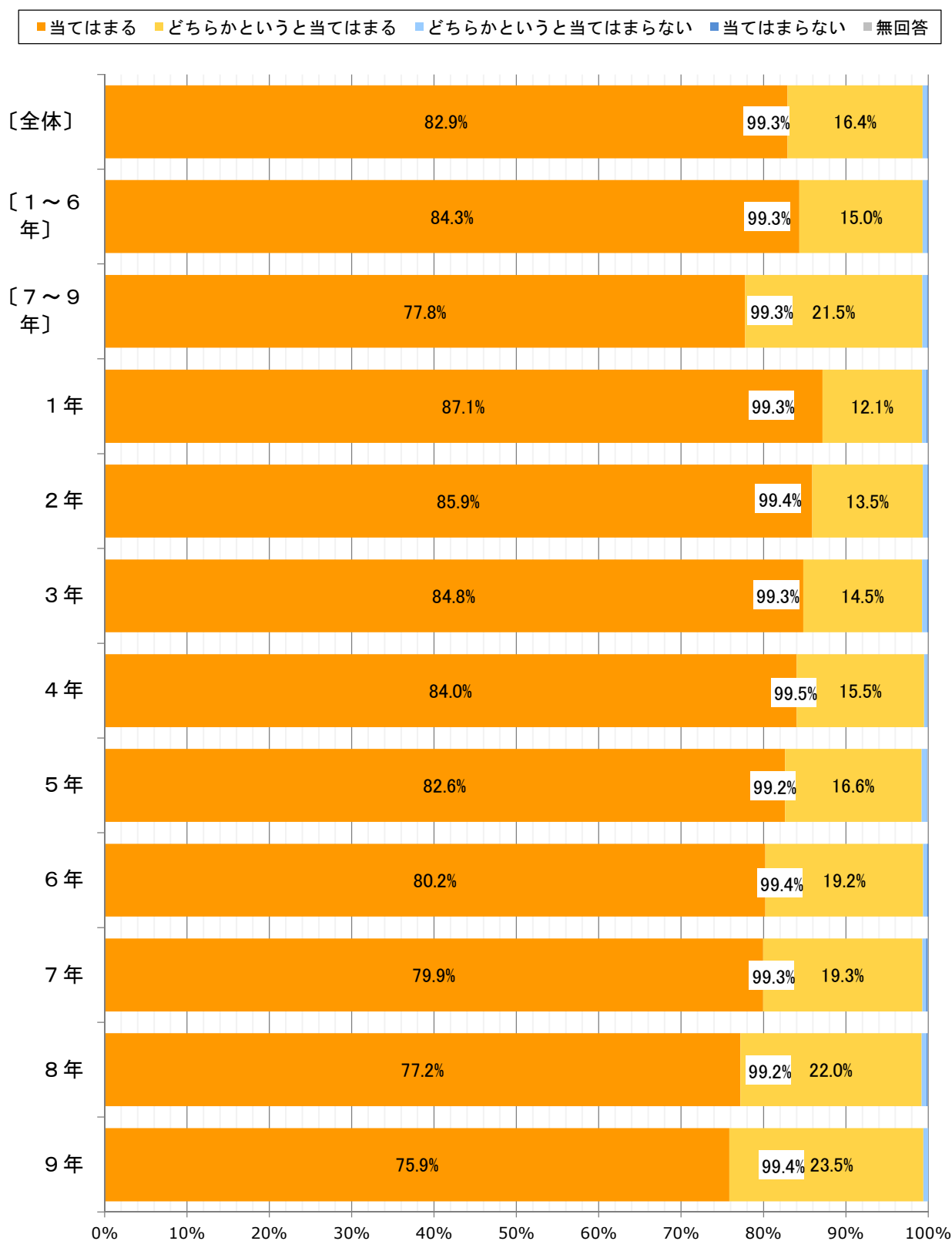
[9] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。



「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で98.7%である。

『肯定的な回答』は1～6年では98.7%、7～9年では98.6%でほぼ同じ割合であるが、「当てはまる」の割合は1～6年で80.0%、7～9年は74.3%と約6ポイントの差がある。

[10] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。



「お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で99.3%である。

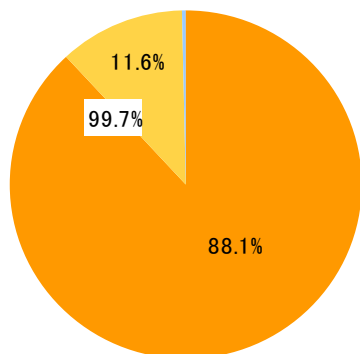
1～6年、7～9年のいずれも99.3%であるが、「当てはまる」の割合は1～6年で84.3%、7～9年で77.8%で、6ポイントあまり差がある。

[10] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。

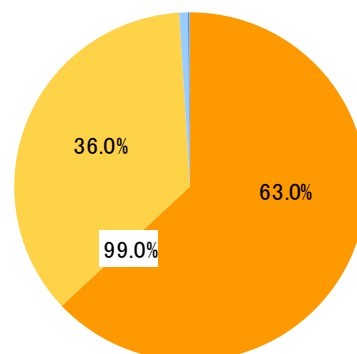
[5] 1年生からの英語学習は良いことだと思う とのクロス集計

■当てはまる ■どちらかという当てはまる ■どちらかという当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

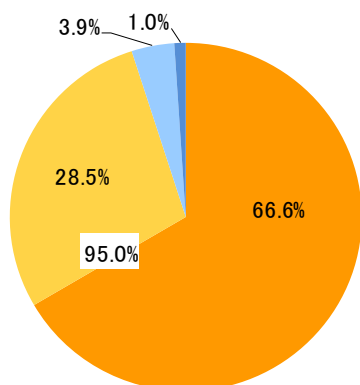
(1年生からの英語学習は良いことだと思う)
当てはまる
n=15,659



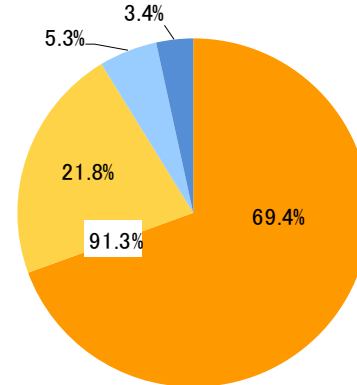
(1年生からの英語学習は良いことだと思う)
どちらかという当てはまる
n=3,444



(1年生からの英語学習は良いことだと思う)
どちらかという当てはまらない
n=583



(1年生からの英語学習は良いことだと思う)
当てはまらない
n=206



		設問 10									
		当てはまる		どちらかという 当てはまる		どちらかという 当てはまらない		当てはまらない		無回答	
設問 5	当てはまる	13,794	88.1%	1,812	11.6%	44	0.3%	5	0.0%	4	0.0%
	どちらかという当てはまる	2,170	63.0%	1,240	36.0%	27	0.8%	5	0.1%	2	0.1%
	どちらかという当てはまらない	388	66.6%	166	28.5%	23	3.9%	6	1.0%	0	0.0%
	当てはまらない	143	69.4%	45	21.8%	11	5.3%	7	3.4%	0	0.0%
		計									

設問[5]の「1年生からの英語学習は良いことだと思う」の回答別に見ると、[お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う]に『肯定的な回答』は、「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に「当てはまる」で99.7%、「どちらかという当てはまる」で99.0%、「どちらかという当てはまらない」で95.0%、「当てはまらない」で91.3%と、1年生からの英語学習は良いことだと思う人ほどお子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う傾向が見られた。

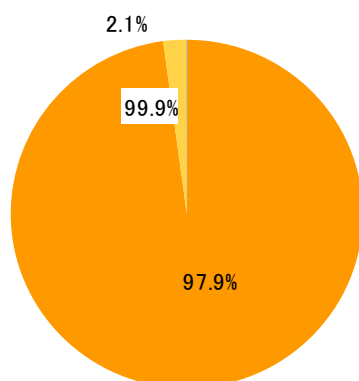
[10] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。

[9] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う とのクロス集計

■当てはまる ■どちらかという当てはまる ■どちらかという当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

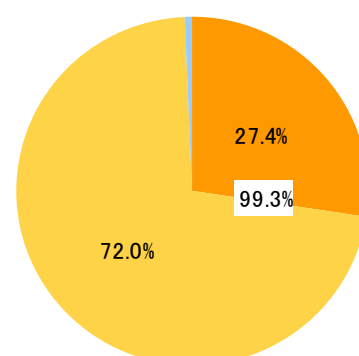
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)

当てはまる
n=15,688



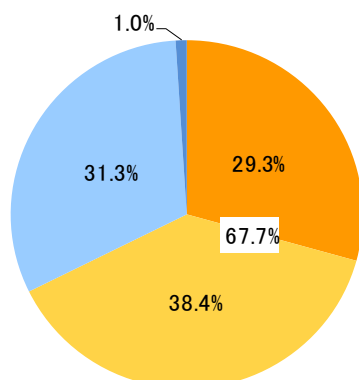
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)

どちらかという当てはまる
n=3,970



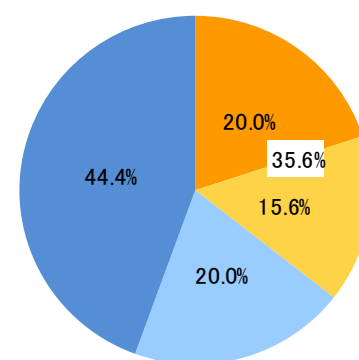
(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)

どちらかという当てはまらない
n=198



(お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う)

当てはまらない
n=45



		設問 10									
		当てはまる		どちらかという 当てはまる		どちらかという 当てはまらない		当てはまらない		無回答	
設問 9	当てはまる	15,353	97.9%	325	2.1%	8	0.1%	1	0.0%	1	0.0%
	どちらかという当てはまる	1,086	27.4%	2,857	72.0%	27	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
	どちらかという当てはまらない	58	29.3%	76	38.4%	62	31.3%	2	1.0%	0	0.0%
	当てはまらない	9	20.0%	7	15.6%	9	20.0%	20	44.4%	0	0.0%
		計		計		計		計		計	
		15,688		3,970		198		45		100.0%	

設問[9]の「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」の回答別に見ると、「[お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う]に『肯定的な回答』は、「お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う」に「当てはまる」で99.9%、「どちらかという当てはまる」で99.3%、「どちらかという当てはまらない」で67.7%、「当てはまらない」で35.6%と、お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う人ほど、お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う傾向が見られた。